

進捗状況の概要

・コーディネーターの活用を含む佐賀大学及び事業協働機関の推進体制を構築し、地域を志向するキャリア教育のプログラム開発と実践及び雇用の拡大・創出のための戦略的研究・社会貢献の推進のための具体的事業の企画を推進した。COC+大学としての体制は、学長をトップとする「佐賀大学地域創生推進本部」及びCOC事業とCOC+事業を総合的に推進するための「佐賀大学地域創生推進センター」を開設し、センターにはCOC事業推進部門とCOC+事業推進部門を設置し、それぞれ事業実施責任者を部門長とし、全学的な取り組みとして推進する体制を整えた。事業協働機関としては、産学官金労言の代表者からなる「さが地方創生人材育成・活用推進協議会」を設置し、佐賀県全域を事業協働地域とするため、佐賀県及び県内の全ての地方公共団体（10市10町）との間で事業を協働で進めるための協定書を締結し、申請時の16の大学・団体・企業・NPOに加え、あらたに11機関を追加し、COC+参加校にCOC既採択校で永原学園西九州大学を追加した。これらは、平成28年2月に開催した「さが地方創生人材育成・活用推進協議会：設立総会」において承認の手続きを行った。これにより、本事業の全県的な取り組みのための体制が整備された。また、本事業への全学的な取り組みと連携の強化のためのシンポジウムを実施し、事業協働機関を構成する地方公共団体・経済団体・企業・NPO等の関係機関の連携による地方創生を担う人材の育成に向けた教育・研究・社会貢献を推進した。

・佐賀大学においては、地域を志向する教育科目の全学必修化を進めるために教養科目のインターフェース科目（選択必修・4科目8単位）に地域志向要素を組み込むカリキュラム改革の準備を整えた。また、IT企業との協働による農業の高度化・ベンチャー育成のための新規授業科目：インターフェース科目「2年間でできる『がばいベンチャー』の作り方」、産学官連携型の「佐賀版キャリア・デザイン」及び「チャレンジ・インターンシップ」を基本教養科目（総合科目）として平成28年度から開講する準備を整えることができた。学部専門科目においては、有田キャンパスの設置による地域芸術デザイン型のフィールドワーク（芸術地域デザイン学部）、県内企業経営者による講義「現代の経営」（経済学部）等の平成28年度開講科目の準備が整えられた。

・教育学部における子ども発達支援士養成プログラム、医学部における障がい者就労支援士養成プログラムの平成30年度からの特別の教育プログラム（副専攻）の設置に向けた準備を本格化させることができた。

・地元就職率の向上にむけて、本学及びCOC+参加校において、県内の企業等でのインターンシップの強化、及び地域志向型アクティブ・ラーニングを重視する地域を志向するキャリア教育のプログラム構築に関する共通理解が醸成され、産業界のニーズに対応したインターンシップの推進のための体制が整備された。

・理工学部・農学部の平成30年度の学部改組に向けて、インターンシップを含む実践型教育カリキュラムからなる地方創生を担う人材育成を基本理念とするカリキュラム改革を進める準備をはじめることができた。また、理工系人材の育成と地元就職とのマッチングを図る産学官連携の準備を進めIT農業、機能性食品開発、セラミック産業振興等の研究・社会貢献プロジェクトの企画と実施のための準備を進めることができた。

・雇用の拡大・創出に向けて、県内企業等の情報収集及び産学官連携による産業振興を協働して実施するための準備を整えた。

・COC+参加校の佐賀女子短期大学・九州龍谷短期大学においては、アクティブ・ラーニング教育のカリキュラム編成、自治体との包括協定締結による産学官連携の強化のための準備、及びコーディネーターの配置による就職支援のための準備を整えることができた。また、大学間連携共同教育推進事業で実施している「子ども発達支援士養成プログラム」とCOC+事業との具体的な連携に関する準備を整えることができた。

(COC+大学名：佐賀大学、事業名：さが地方創生人材育成・活用プロジェクト)